

# 子連だより

No. 122



## 創立四十周年記念事業を終えて

一般社団法人新潟県子ども会育成連合会

会長 須田 貴子



創立四十周年記念式典ならびに記念祝賀会を十一月十九日に執り行い、ご多忙にも関わらず、池田新潟県教育長様はじめ大勢の皆様よりご臨席いただくことが出来ました。新潟県子ども会連絡協議会として昭和五十一年五月に創設されて以来、記念すべき節目を迎えられましたのも、関係各位の皆様様の温かいご支援とご指導の賜物と、実行委員を代表し、心より感謝申し上げます。また、当日の記念発表には私の地元、柏崎市の子ども育成会より活動発表をしていただき、会の成り立ちや活動紹介などの他、子どもたちの踊りも披露されました。日ごろ、接している子どもたちと一緒にたっせいか、笑顔に包まれた和やかな式典となり、とても温かい時間を過ごすことができました。

今年度は年二回実施している「災害復興祈念事業（子どもの遊びのひろば）」を創立四十周年記念事業として三回計画し、県立生涯学習推進センターで開催された、にいがた生涯学習県民フォーラム二〇一六の「体験コーナー」（十月二十九日開催）では、積木コーナーを担当させていただきました。初めて県民フォーラム

に出店させていただきましたが、この「体験コーナー」のチャレンジ広場には、けん玉・将棋・オセロ・風づくり・折り紙体験・ボードゲーム・紙芝居・絵本の読み聞かせなど、子どもに関わる多くの団体が、日々の活動の中で学んできた、子どもへの接し方、子どもに教え伝えることなど、得意とすることを披露（出店）し、県民フォーラムのテーマである「学びを楽しみ、学びを生かす みんなで体験」に相応しい「チャレンジ広場」となり、私も参画した一人として多くのことを学ばせていただく機会となりました。昨今の少子高齢化等により、多様な団体においても会員減少や育成者の高齢化などの他、運営面等においても、とても厳しい状況にあるようですが、各々の団体が地域の子どもや高齢者を見守りながら、

みんなで体験でき、学ぶ場として公民館やコミュニティセンター等の社会教育施設を活用し、共に育み育まれる機会を作ることが、ふるさとへの愛着を育み、人づくりに繋がるのだと感じた県民フォーラムでもありました。

その他の記念事業として、子ども会活動のPRと体験活動の推進を図

るため、八月八日の「子ども会の日」前後の活動（①野外活動、②防災・防犯、交通安全教室、③スマホ教室等ネットセキュリティ関係についての対策や研究活動、④高齢者等とのふれあい交流会やボランティア活動など）に対して、七団体（未加入子ども会二団体含む）に助成し、各地で多様な活動を展開していただくことができました。

四十周年という節目の年だけではなく、今後とも地域と力を合わせ、安全で楽しい子ども会活動と子ども手による子どもが主役の子ども会づくりを推進し、地域の宝である子どもたちを皆様と共に育んでいきたいと思っております。皆様の一層の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。





# 県子連だよりに触発されて

## 「循環型の人づくり・地域づくり」

新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課 課長 福保雄成

### 一 はじめに

私の勤務する上越教育事務所社会教育課の書架には、「新潟県子連だより」が平成十三年六月のNo75から綴られています。No75の巻頭言では、「学校週五日制が始まる。社会教育の中でどう子ども会を位置つけていくのだろうか。その前に家庭と地域が深く協議しないとうまくいかないと思う。」と述べられています。No120の巻頭言では、「みんな地域（まち）の子」地域と共につくる体験活動を〜として、「地域に存在する子ども会役員や育成者だからこそ出来る循環型の人づくり・地域づくり」の重要性が述べられています。県子連だよりから「ニイガタ子ども会」が、目の前の子どもたちに何ができるのか、どうあるべきなのか、を問い続けてこられたことがよく分かりました。

### 二 地域と共につくる体験活動

当該で編集発行している『上越の生涯学習』には、管内三市の事業や自主運営団体の取組を収録しています。そ

こに収録された地域と共につくる体験活動の事例を紹介します。

【フウセンカズラ高齢者みまもり隊大作戦】（平成二十四年度収録・糸魚川市）  
 能生地区では、「能生地区元気印の会」と糸魚川市立能生小学校、多くの関係機関が連携して「フウセンカズラ高齢者みまもり隊大作戦」の活動が行われています。「能生地区元気印の会」の元気印みまもり隊は、能生地区で高齢者を孤独・孤立から守り、生活面の困りごとをサポートしてきました。平成二十四年度には、能生小学校に働き掛け、一緒になって「フウセンカズラ高齢者みまもり隊大作戦」を実施しました。子どもたちが種から育てたフウセンカズラの苗と手紙を持って、高齢者宅を訪問し、一緒に苗を植え付けます。繰り返し訪問することで、高齢者は子どもたちの元気ももらい、子どもたちは自分も地域の一品として役に立つことを実感しています。それ以来、フウセンカズラの花言葉「永遠にあなたと共に」を意識しながら、着実に活動を続けています。

【中学生まちづくりワークショップ】（平成二十七年年度収録・上越市）  
 二十二年中学校区の生徒（代表）と地域青少年育成会議が話し合い、地域活動や地域生活の課題解決の方策を具体化し、実践することを目的としています。地域での運動会に企画段階から中学生が参画することで活性化が図られた事例や地域の魅力を集めた事例等、多くの実践が紹介され共有されました。

【妙高フレンドスクール】長期宿泊体験活動（平成二十六年年度収録・妙高市）  
 市内の小学六年生を三班に分け、国立妙高青少年自然の家で四泊五日を過ごす活動です。学校の枠を超えて班編成され、外部講師の指導も得ながら五日間を一緒に生活することで社会性が育てられています。

### 三 県子連だよりから

県子連だよりを見ると、子どもたちが、地域で大人と一緒に地域の環境を保全する活動や伝統行事を守る活動を行っている等、がんばっている様子が記されています。また、シュニア・リー

ダー研修会等で、体験を通したリーダーとしての学びが数多く記されています。中国の古典に、「聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。やったことは、分かる。」とあります。次期学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)がキーワードとなっています。言い換えると「分かる、できる、伝え合う」でしょうか。

体験を通して分かり、自分でできるようになり、互いに伝え合い協力し合う。このように子どもたちが体験を通じた学びを活かして地域やまちづくり活動に参画していくことは、即ちアクティブ・ラーニングの一つと言えるのではないのでしょうか。

物事を変えるためには、エネルギーが必要です。一人でできなければ、仲間を集めてみんなの力を結集することが必要です。そして、地域が応援し、地域も元気になり、互いにWin-Winの関係を築くことが大切です。これが循環型の人づくり・地域づくりの姿ではないでしょうか。

### 四 最後に

県子連だよりを紐解くことで、子どもファーストで活動されてきた「ニイガタ子ども会」の実践に学ばせていただきました。貴会のますますのご発展を祈念申し上げます。



上越地区

親子レク

上越市三和区所山田子ども会

四年生 美納 史佳

私は、大坪と言います。今日は、インタビュをしますのでよろしくお願いします。

・先ずお名前を教えてください。  
みのう、ふみか四年生です。

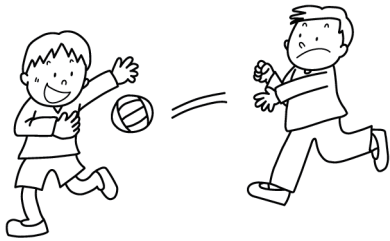
・親子レクについて教えてください。  
いつ、どんなことをしましたか。

七月二十日(日)に、朝九時に家を出て、体育館でよその子ども会の子たちと遊びました。色々なゲームをしました。中でも野球が一番楽しかったです。お父さんやお母さん、お兄ちゃんや妹や弟、小さい子もみんな一緒になってやりました。いっぱい走り回って、汗もかいたけど楽しかったです。他にもドッチボールやキックベースボールもやりました。キックベースボールは、ぼくの父ちゃんが一番つまかったです。みんな汗だくになって遊びました。お昼は、場所を変えて区内の施設で親睦会をかねて、全員で昼食を食へました。お風呂に入ったり、ビンゴゲームもやりました。景品ももらえました。

・今度は、お父さんにお話しを聞きます。この事業の経緯についてお話を聞かせてください。

この事業は、今回が初めての事業です。春のPTAの作業ボランティアで顔を合わせた時、地域の人から夏休みに子どもたちと一緒に何かやりましようというところで意気投合し、私が計画しました。やって良かったと思います。何よりも子どもと親の顔が一致するようになりました。道ばたで顔を合わせても、どこそこの父ちゃん・お母ちゃんだと分かるようになりました。これは、今後も続けて行きたいです。予算は、全て会費でまかいました。

今日は、貴重な時間を頂きありがとうございました。



中越地区

賽ノ神に参加して

見附市杉沢町子ども会

六年 北村 光

毎年杉沢町では、子ども会の一大イベント、賽ノ神が小正月に行われます。賽ノ神の準備は、十月に行われる「とばかき」から始まります。本番に立派なやぐら



楽しみはまだあります。一年間の健康と無病息災を願ってあぶるスルメはおいしかったです。保護者が作ってくれた、あま酒、コンニャクもおいしかったです。春からは中学生になり、子ども会を卒業しますが、昔から受けている賽ノ神を大切にして、これからも参加したいと思えます。

来年も立派なやぐらを作って、立派に燃えて、病気やけがない楽しい一年になったらいいなと思います。

だんだん子どもが減っていき、受けつがれるかはわかりませんが、ぼくが大人になっても参加して、どんどん受けついでいってほしいです。

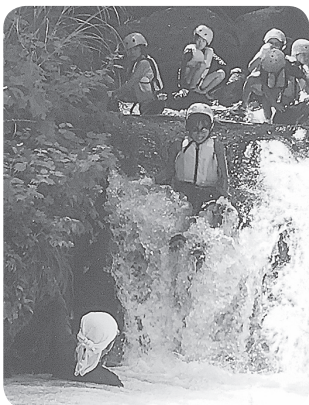
「字が上手になるように」と練習した習字の紙を入れたりします。おほらいが終わり、いよいよ点火。火は空高く燃え上がり何日もかけて作ったのに、燃えていくのはあつという間でさびしい気持ちになりましたが、幻想的で立派に燃えたのがんばったかいいがありました。



下越地区

思い出いっぱい  
わんぱくキャンプ

阿賀野市子ども会  
四年 渡邊 紬



私は、夏休みに「わんぱくキャンプ」へ参加しました。今回が初めてだったので、不安でむねがドキドキしました。でも、実さに行ってみると楽しい活動がたくさんでした。一日目に、「フリスビー作り」がありました。フリスビーは紙とテープだけで作りました。「ちゃんと飛ぶのか」と心配になりました。でも、私がついているプラスチックのフリスビーより、よく飛んだので、おどろきました。その手作りのフリスビーで、ゲームをしました。さかさまにした「かさ」を的にして、フリスビーを入れるゲームです。むずかしかったけれど、とても楽しかったです。二日目に、「さわ登り」をしました。これは、スリル満点で、キャンプでの一番の思い出です。川に入った時は、プールの水とはちが



い、つめたくて足がこおりそうでした。けれど、流れの強い所や、つるつるすべる岩場などをのぼるのが大変で、水のつめたさも忘れませんでした。足がつかないほど深い所では、ロープにつかまりながらわたりました。そのロープは、細くて切れてしまいそうで、とちゅうで、こわくて不安になりました。けれど、いっしょに参加した友だちに、はげまされて、勇気を出してゴールまで行くことができました。ゴールでは一〜二メートルくらいの高さのたきの上から、ウォータースライダーのように川に飛びこんで、とても楽しかったです。私は、このキャンプが、夏休みで一番の思い出になりました。ワクワクドキドキして、おもしろかったです。また、来年も行きたいです。

佐渡地区

達者子ども会の  
地域行事

佐渡市達者子ども会  
六年 岡部 怜央



達者子ども会は、毎年、夏休みと冬休みに、地域行事を行っています。いつもは、活性化センターでお楽しみ会をしているのですが、今年の夏休みは、はじきのフィールドパークに行つて一泊し、冬休みは、たごづくりをしました。はじきのフィールドパークでは、ログハウスに泊まりました。一日目は、散歩をしたり、ゲームをしたり、外で遊んだりしました。夕食は、オードブルでした。夜は、みんなで、灯台を見に行きました。



ログハウスは、二つに分かれてねました。翌朝、六時三十分、灯台近くの広場に集まって、ラジオ体操をしました。朝食をレストランで食べてから、バスで家に帰りました。とても楽しい二日間でした。冬休みは、活性化センターでたごづくりをしました。公民館の方に教えてもらつて六角だこをつくりました。少しむずかしかったけど楽しかったです。昼食はカレーを食べました。午後は、つくったたこを浜で上げました。高く上がったすこく楽しかったし、みんなもたのしそうでした。その後は、自由時間で、ゲームをしたり宿題をしたりして遊びました。つくったたこはお正月に、神社にかざってもらいました。大ぜいで遊ぶことがほとんどないので、とても楽しかったです。今までとはちがいが、はじきのフィールドパークに行ったり、たごづくりをして、とても楽しかったです。



全国子ども会連合会表彰を受賞して

子ども会活動を振り返って



上越市子ども会連絡協議会

会長 瀧本晴夫

この度、全子連表彰を頂きましてありがとうございます。多くの皆様方のご指導のおかげと深く感謝申し上げます。

振り返れば、子ども会との係りは、平成四年から単位子ども会のお手伝いに行き、大人と違い子どもと接することで、気持ちに偽りなくストレートに返ってくる会話だったり、行動だったりがとても楽しく、いろいろな行事に参加してきました。平成十年の小学校のPTA副会長の時、各小学校区から市子連の理事を選出することになり、私も理事としてお手伝いをするようになり、そうこうしている内に、県子連の編集委員にも参加し、学校時代は大の国語嫌いでしたので、学校時代は、広報部・編集委員で各原稿を校正するにあたり、子どもたちの純粋な気持ちで書いた原稿を拝見すると気持ちよくなりました。また、行事を一つ終えることにたくましく、頼もしく成長をして行く子どもたちを応援したいと思いました。そして、なぜか私が、市子連の会長となり、県子連の理

事、広報部長をおおせつかりました。新潟県で行われた関ブ口育成研、関ブ口ジュニア・リーダー大会に参加し、他県での子ども会の様子、また、これからの子ども会の歩み方を話し合い、私ながら悩み、地域の子どもの会では出来ない深い経験を経験を致しました。今年には県子連四十周年記念事業が開催され、これも何かの巡り合わせかと思ひ、感激をしています。

今回、全子連表彰式が、福岡県久留米市で開催されることとなり、夫婦で出席が出来れば良かったのですが、何とこちらも上越市は、この時期、降雪が一番多い時期ですので残念ですが欠席を致しました。受賞にあたり、県・市子連の先輩皆様方に温かく見守られ、ご指導・ご鞭撻を頂き、感謝申し上げます。また、家族の協力も忘れてはなりません。これを機に、なお一層子ども会活動に励みたいと思ひます。

最後に、県子連・市区町村子連の皆様方の益々のご発展とご活躍を祈念申し上げます。感謝の気持ちとさせていただきます。

阿賀野市の活動紹介

はじめてのクリスマス会

阿賀野市子ども会

二年 百都 里音

十二月十一日、水原こうみんかんでのクリスマス会にさんかしました。おとうさんにさそわれてさんかしたの、さいしょは、何かあるのかわかりませんでした。会場でたくさんのおもいの木を見て、だんだんワクワクしてきました。クリスマス会では、そのもみの木をつかって、自分だけのクリスマスツリーを作ったり、おかしつりゲームやふき矢でみかんをゲットしたりしてすごしました。さいごは、くらくしたへやでキャンドルに火をつけ、みんなでクリスマス歌をうたいました。とてもたのしくて、あっという間に時間がすぎていきました。ぜひ来年もさんかしたいです。

楽しかったクリスマスをつどい

阿賀野市子ども会

五年 関口 真桜

私は、十二月十一日(日)に、公民館でやっていた「クリスマスをつどい」に友達といっしょに参加しました。

最初に、MYクリスマスツリーを作りました。ベルのかざりやまつぼっくり、モルリボン、綿などを使って作りました。きれいなツリーが出来てよかったです。

次に、色々なゲームをしました。一つ目は、サンタの



くつしたに入っているおかしをつってゲットするゲームです。三年生以下は、ゆかの方からやって、四年生以上は、ステージの上からおかしをつりました。糸がゆれてつるのが大変だったけど、つれてよかったです。

二つ目は、ストローの中に串を入れて、息を強くふきかけて、串がみかんにささったらゲットというゲームでした。かべに串がとんでいたり、テーブルに串がついたりしてむずかしかったけど、がんばって五個以上ゲット出来たのでうれしかったです。

三つ目は、つなひきをしました。ふつうのつなひきではなくて、フラフープの外に足がついたら負けというルールです。友達と二対二でやってみたらかなり強くて負けそうでした。でも、私めががんばって結果は、どつてんでした。あめを二個もらいました。「ヤッター」と思いました。他にもあって、すごく楽しかったです。

最後に、みんなでおとなになって、「赤鼻のトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース」「ジングルベル」「きよしこの夜」を歌いました。その時に、キャンドルに火をつけて、会場中をあかりでいっぱいにして、とてもきれいでした。

私は星の形のキャンドルを選びました。今年で一番楽しい日になりました。来年がすこく楽しみです。



# 「地域のまち創りは子ども会から」 第五十回全国子ども会に参加して

(一社) 新潟県子ども会育成連合会  
副会長 椋澤 政晴

梅が咲き、春の息吹が感じられる福岡県久留米市で「第五十回全国子ども会育成中央会議・研究大会」が二月十七日から三日間開催されました。

今回の大会は「地域のまち創りは子ども会から」をメインテーマに全国から千人を超える参加者のもと様々なテーマについて話し合いが行われました。分科会は九州全県で各分科会を担当し、運営が行われました。私が参加した第三分科会は「子ども会活動の運営」で運営するのはだれかをテーマに、十班に別れて話し合いを行いました。進行は熊本県で「虹をテーマ」に活躍されている虹の会の高山さんがこの分科会を担当され、虹を使っ



た自らの活動を紹介されました。各班での自己紹介が終わった後、虹色に塗ったコップを使い、ボールをキックヤチし合うゲームで雰囲気盛り上がった後、各班でワークシヨップを行いました。我々の班は大体六十歳台でしょうか。我々の子ども時代のことから話に入っていました。

その頃は、子ども会がなくても地域で年齢差なく遊んでいたものでした。しかし、今は地域で子どもたちが遊んでいる姿は見れなくなってきました。そうした中で子ども会の役割は増しているのでしょうか、役員の手がなくなったり、協力性のない親が増えてきています。長岡での子ども会育成者が集まった研修会でも悩みとして出ます。今回の参加者は各県の育成団体の代表者がほとんどでしたが、単位子ども会の代表者も参加され育成者の立場で発表



がありました。子どもの手による子ども会活動に取り組んでいることも会の様子が語られました。もっと子ども会にかかわっている人たちの参加が増えるようにすれば生の声が聞け活性化するのではないかと考えます。

「地域のまち創りは子ども会から」をテーマに開催された今回の大会、九州全県の郷土伝統芸能や新しい伝統を創る取り組みなどが二日目に発表されました。大分県の子ども神楽保存会の神楽や佐賀県の巫女の舞、熊本県の子ども歌舞伎、福岡県の御井町風流などは地域と子ども会が力を合わ



せなければ出来ない伝統行事ではないでしょうか。長老がいて次の世代があり、そして、子どもたちに繋がっている。それが子ども会の原点だと感じました。地元久留米市の「ボディパーカッション」は新しい取り組みとしての活動として今後新潟県でも取り組んでいきたいと思いました。

沖繩のジュニア・リーダーが取り組んでいる「創作エイサー」の活動も素晴らしいものでした。ジュニア・リーダーの活動の見本でしょうか。今回の発表は九州の力強さを感じ、力をもらった子どもたちの活躍でした。

今回の表彰で新潟県子ども会育成連合会は、四十年を迎え「奨励賞」を受賞致しました。また、上越市の瀧本晴夫氏が二十一年間の活動が認められ、「全子連表彰」受賞されました。おめでとうございます。益々の活躍を期待いたします。



## 地区別「子ども交歓大会」のようす

### <下越地区>

- 期 日：平成29年2月5日（日）
- 会 場：新発田市「子供の館」
- 参加者：子ども12人 大人、指導者8人
- 活動内容

○創作活動「大工のゲンさん」「たみ屋さん」  
自分で考え作ってみよう！

#### • 感想

大工・畳職人さんの指導で自分の作りたい物を最初に図面化し、材料を切ったり曲げたり削ったり、思い通りのものができる喜びや失敗した時のくやしさを、他の地区の子ども達との交流など、感動の一日でした。



### <上越地区>

- 期 日：平成28年11月5日（土）～6日（日）
- 会 場：国立妙高青少年自然の家
- 参加者：子ども15名 リーダー10名  
指導者育成者5名 計30名
- 活動内容

○仲間づくり、KYT、レクリエーション、ウォークラリー、キャンプファイヤー、ウォークラリーなど

#### • 感想

リーダー達は今までに体験したり、研修で学んだことを実践する場で、工夫しながら楽しく活動でき大変盛り上がっていました。

また、あまり実践できないキャンプファイヤーは大変参考になった様です。

今後も上越地区のリーダー交流を深めていければと期待しています。



### <佐渡地区>

- 期 日：平成28年8月6日（土）～7日（日）
- 会 場：八幡地区集落センター
- 参加者：親子29組60人
- 活動内容

夏休み親子工作教室

○ジュースのペットボトルを使い、地元出身のペットボトルアートの講師を招き、親子での工作を行った。

#### • 感想

2日間で29組の親子が参加し、試行錯誤しながらカブトムシ・アゲハチョウ等の作品づくりを行い、物作りの楽しさや共同で作業を行うことで親子の絆を深める機会となった。



### <中越地区>

- 期 日：平成28年10月10日（月）
- 会 場：三条福祉総合センター
- 参加団体：加茂市子連・柏崎市子連  
長岡市子連・三条市子連
- 参加者数：300名
- 活動内容

○加茂市：バルーンアート  
○柏崎市：空き缶とストローを使った笛とスライム  
○長岡市：きらきらシャボン玉  
○三条市：プラトンボと折り紙づくり  
○積み木コーナー

#### • 感想

天候にも恵まれ、開場とともに多くの子が来場し、体験コーナーやモノづくりに挑戦していました。

会場中央に積み木コーナーを設けましたが、子どもも大人も楽しんでいました。子どもの笑顔にふれ、楽しい一日でした。



# 県子連第二回J-R中級研修会

期日 十月二十二日(土) 二十三日(日)  
会場 新潟市大畑少年センター

## 中級研修で感じだこと

柿崎ジュニア・リーダークラブ  
高校二年 飯塚 亜海

私は今回中級研修会に参加して、初めて出会った人と協力して一つのことをやり遂げる楽しさと、難しさを感じました。いつも活動している環境とは全く違い、戸惑う部分も多かったけれど、最後まで全力で楽しむことが出来ました。

今回の研修会では、自分の意見を発言する機会や、仲間の意見を聞く機会が多かったと思います。特に野外での活動は多くの選択肢があり、時間や仲間の考えを踏まえて、みんながまともに行動するのがより良い活動への鍵だと感じました。

そして、今回の活動では自分から進んで困っている人の手伝いをする事ができ、違う班の人とも積極的に関わることができました。食事の準備を手伝ったり駒図の書き方を教えたり、やりがいを感じた反面、人に何かを教える難しさも感じました。初対面ならではの気まずさもお互い協力し、一つのことに対して挑戦していくことで次第になくなっていったと思います。

私は今回の活動で、仲間と意見を出し合い協力する機会はとても大切なことだなと思いました。自分の地区の活動に帰ってからもこのような機会に積極的に挑戦し、もっとより良い活動を目指していきたいです。

## 中級研修会で学んだこと

柿崎ジュニア・リーダークラブ  
中学二年 滝澤 新

僕は、今回が初めてのの中級研修会でした。どんなことをするのか詳しく分かり

ていなかったのが不安でしたが、当日になつてみると、他の地域のジュニア・リーダーたちとの交流はとても楽しく、講座や実習はとても充実していましたし、皆とも仲良くできたのでよかったです。

僕が今回の研修で印象深かったことが二つあります。

まず一つ目は新潟探訪です。普段できないことができて、古田のことも知ることができて、とてもよい経験になりました。

二つ目はKYTトレーニングの講座です。僕はそれまでKYTは聞いたこともなかったけど、この講座を受けて、KYTをやる必要性を学ぶことができました。子どもたちの活動を安全にするために今回学んだKYTを今後の活動に活かしていきたいです。

今回の研修会で学んだことはKYT以外にもジュニア・リーダーの役割についてや、子ども会の活動の進め方など、今回の研修で学んだことをしっかりと身につけていって、これからの生活がより良くなっていくにはどうすればよいかをしっかりと考えていきたいと思えます。

## 中級研修に参加して

柏崎市ジュニア・リーダークラブ  
中学二年 吉田 麦

僕は中級研修に参加して良かったと思えました。

中級研修ではジュニア・リーダー活動で出来ない内容があり、KYTです。その中で印象に残った内容は、KYTです。KYTでは、絵に書いてある危険を探して、その危険を安全にするにはどうしたらいいかを考えました。危険な所を見つければ簡単でしたが、その危険を安全にすることが難しくなりました。これはジュニア・リーダーにとって重要な事だと思いました。

他にも、ジュニア・リーダーの役割では、ジュニア・リーダーの必要性について話し合い、子ども会の進め方ではジュニア・リーダーについてや子ども会を仕切る

る、会事業のプログラムの必要性などについて考えました。レクリエーションではレクリエーションの進め方、何をするか、何が出来るかなどを考え、実際に全員に指導して発表をしました。

僕は今回の研修で、子ども会の進め方、KYT、レクの進め方など多くを学ぶことが出来ました。

ここで学んだことを活かして、これからのジュニア・リーダー活動を行っていきたいです。

## 中級練習会に参加して

柏崎市ジュニア・リーダークラブ  
中学三年 西 優奈

私は、今年初めてジュニア・リーダー養成講座に参加し、中級研修にも参加させてもらいました。

中級研修会では、KYTの講座を受け、危険を予知するには、周りをよく見ることの大切さや、安全に活動出来るように考えることの重要さを、改めて学びました。

また、みんなに分かりやすく伝える事が大切だと気付くことが出来ました。聞いている人によって、捉え方が違うので、リーダーとして人に説明することの難しさを感じた研修会でした。

そして、竹とんぼ作り、マップ作り、講義の体験でも、難しい所もありました。が、友達と協力したり、先生方に教えてもらいながら、楽しく活動することが出来ました。

研修会に参加したことで、いろいろなことを学び、良い経験になりました。これから、周りをよくみて行動すること意識していきたいと思えます。また研修会に参加する機会があれば、ぜひ参加したいと思えます。ありがとうございました。

## 中級研修会で学んだこと

長岡市ジュニア・リーダークラブ  
中学三年 高橋 範臣

僕は、今回新潟市で開催された中級研修会に参加しました。初めは緊張して何をしゃべったら良いか分かりませんでした。が、時間が経つにつれて他のジュニア・

リーダーと仲良くなり、楽しい時間を過ごすことができました。

僕が、今回の研修で学んだことの二つ目は、レクリエーションです。今まで知らなかったレクを色々やりました。子ども達に説明する時、どのように言ったらちゃんと理解できるのかが分かり本当に良かったと思っています。

二つ目は、KYTやジュニア・リーダーとしての役割などです。レクを楽しませるためにも安全で怪我のないようにしたいといけなく講師の方から教えていただきました。

今回の研修を振り返りつつ今後の活動を良くするためには、どのようなことをすればよいかを考えていきたいと思えます。そしてこれからもジュニア・リーダーの仕事がんばっていききたいと思います。

## 中級研修に参加して

長岡市ジュニア・リーダークラブ  
高校二年 長谷川 裕生

私は、今回初めて中級研修会に参加させていただきました。泊まりがけでの研修でさらに初めて会う方々と二日間やっていけるのか、とにかく不安でした。けれど実際に話して話してみるとみんな明るくて、とても話しかけやすい方ばかりで、いつの間にか、仲良くなる事が出来ました。

その中でも一番打ちとけられたのが探訪の時間でした。街のいろいろなところをまわりながら、多くの話をする事ができ帰って来てからの俳句の時間は、みんな笑いながら過ごすことができ、とても楽しかったです。

また、二日目に入ると班の活動がとても多くなりました。ジュニア・リーダーの役割を再確認することができ、これからの活動に活かしていこうと思えました。危険予知トレーニングでは、先を見て行動しないこと、いつ事故が起きるか分からないので注意、ということも思いました。

私はこの二日間、とても貴重な体験をすることができ、とても良かったです。この貴重な体験を、体験で終わらせることのないよう、ジュニア・リーダーの活動にしっかりと活かしていきたいです。



**平成29年度  
第42回 一般社団法人新潟県子ども会  
育成連合会総会案内**

**I 総会について**

期 日 平成29年5月21日(日)  
 時 間 13時30分～16時00分  
 会 場 上越市民プラザ  
 TEL 025-527-3611

**II 遊びのひろば**

主 催 一般社団法人新潟県子ども会育成連合会  
 共 催 上越市子ども会連絡協議会  
 日 程 受 付 12時30分～13時30分  
 遊びの広場 12時30分～15時30分

**<開会式次第>**

- 1 開会のあいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 表 彰 県子連表彰
  - (1) 指導者・育成者
  - (2) ジュニア・リーダー
  - (3) 子ども会
- 4 祝 辞 県生涯学習推進課長  
上越市長
- 5 来賓紹介
- 6 謝 辞 表彰者の代表
- 7 閉会のあいさつ  
=休憩=

**H28年度総会 開会式(表彰式)**



**平成28年度 <遊びのひろばのスナップ>**

**<総会次第>**

- 1 開会のあいさつ
- 2 議長選出
- 3 議長あいさつ
- 4 議 事
  - (1) 平成28年度会務並びに事業報告について
  - (2) 平成28年度会計決算報告及び監査報告について
  - (3) 平成29年度事業計画(案)について
  - (4) 平成29年度予算(案)について
  - (5) 平成29年度県子連理事選出等について
  - (6) その他
- 5 議長退任
- 6 次期開催地子連会長あいさつ  
(中越地区)
- 7 閉会のあいさつ



新発田市生涯学習センターにて



小千谷市東小千谷  
体育センターにて



## 平成29年度 新潟県少年自然の家 イベント一覧

新潟県少年自然の家  
〒959-2602 胎内市乙字大日裏  
TEL 0254 (46) 2224  
FAX 0254 (46) 3070  
<http://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>



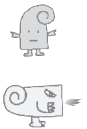
イベント名	期 日	内 容	会 場	募 集 人 員	
自然・ふれあい! 家族のつどい!	1	8/26・27 (土・日) 1泊2日	カヌー・釣り 野外炊さん	新潟県少年自然の家	各回とも 小・中学生含む 家族25組 (70名程度)
	2	12/2・3 (土・日) 1泊2日	クリスマス料理作り 自然素材クラフト		
チャレンジわんぱく	1	7/29・30 (土・日) 1泊2日	カヌー 野外活動	新潟県少年自然の家	県 内 小学4～6年生 70名
	2	9/30・10/1 (土・日) 1泊2日	登山 野外炊さん		
	3	1/27・28 (土・日) 1泊2日	スキー、もちつき どんど焼き		
指導者スキルアップセミナー	6/10・11 (土・日) 1泊2日	当施設の活動をベース にした技能講習		少年団体指導者 30名程度	
家族でカヌーに親しもう!	8/11 (金) 午前・午後	カヌー体験 (小4以上)	胎内川	家族参加で30名	

## 平成29年度 新潟県立こども自然王国 イベント一覧

新潟県立こども自然王国は、遊ぶ・学ぶ・泊まるが1つになった柏崎市高柳町にある宿泊型 (B型) の大型児童館です。



新潟県立こども自然王国  
〒945-1505  
新潟県柏崎市高柳町高尾30-33  
TEL : 0257-41-3355  
FAX : 0257-41-3515  
<http://www.garuru-kururu.jp>



期 日	イベント名	内 容	対 象 ・ 定 員
4月30日	春の恵みでピザ作り	山菜と米粉を使ったオリジナルピザ作り	3歳以上の親子 定員：30名
5月27日	田植えどろんこ体験	王国田でどろんこになりながら田植え体験 昼食&入浴付き	3歳以上 定員：30名
7月9日	川遊び体験	おもいっきり水遊びをしてみよう! 入浴付き	小学生以上 定員：30名
8月26日	カヌー祭り	鱒石川ダム湖をカヌーで探検しよう! 昼食&入浴付き	小学4年生以上
9月3日	親子トンボとり大会	親子で力を合わせて王国の森や水辺で昆虫を見つけに行こう!	3歳～小学生 の親子 定員：親子20組
9月24日	稲刈体験	王国の田んぼに実った稲を手で刈り取る収穫体験! 昼食&入浴付き	3歳以上 定員：30名
10月9日	秋の児童館まつり	美味しい&楽しい屋台が大集合! ランチとのセットもあります。	
12月16日	クリスマスコンサート& お楽しみ会	心温まるハートフルコンサート	3歳以上
3月11日	スキー場感謝祭	チューブボブスレー、的当て、おもちの振るまいなど、 高柳ガルルスキー場にて開催	



# 楽しいゲーム その13

## ジェスチャーゲーム

短い文章をからだのジェスチャーで表現してチームに教え、答えさせるゲームです。

### 〈遊び方〉

- ① はじめに、メモとエンピツ、白い大きな紙(得点表にする)を用意します。
- ② みんなで、ジャンケン、くじ引きなどで出題者を一人きめます。2チームにわかれます。このときに、ジェスチャーを行う順番もきめておきます。
- ③ 出題者は問題を2枚のメモに書いておきます。両チームの一番目の人同士がジャンケンをして先行、後攻をきめます。先攻、後攻がきまったら、出題者は問題のメモの一枚を先攻のチームの一番目の人に渡し、もう一枚は後攻のチームに渡します。後攻のチームはこのメモを口に出さずにまわし読みにします。
- ④ ジェスチャーをする人は、ぜったいに声を出したり、口を開いてはいけません。
- ⑤ ジェスチャーを見て答える数は、なん回答えてもかまいません。チームから文句が出ないように一句一句切って表現します。
- ⑥ 出題者は、これらの正解をつなぎあわせて答えるチームを手助けしてあげます。
- ⑦ このように先攻、後攻のチームが交互にゲームを進めていきます。正解ができたときは5点、できなかったときは0点にして、最後にトータルして得点の多いチームが勝ちです。また、声を出したり、口をきいたときは反則にして、マイナス5点にします。

### 〈ゲームのコツ〉

問題をヒネリすぎたり、むずかしすぎたりするとゲームはおもしろくなくなります。みんながよく知っているようなことわざ、格言などを出すようにします。



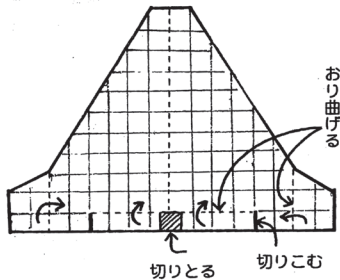
# 創作活動 作って遊ぼう その21

## 輪ゴムで飛ばすグライダー

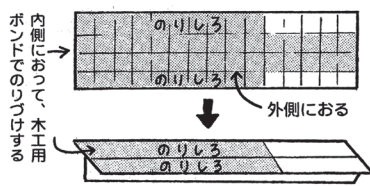
### 用意するもの

輪ゴム…2本 わりばし 木工用ボンド  
 ゼムクリップ…2つ 工作用方眼紙 ハサミ ペン

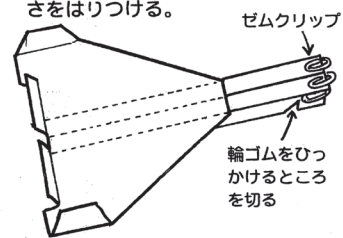
① 工作用方眼紙でつばさを切る。



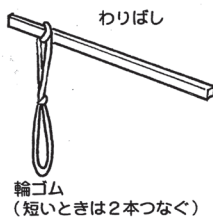
② どうたいをつくる。



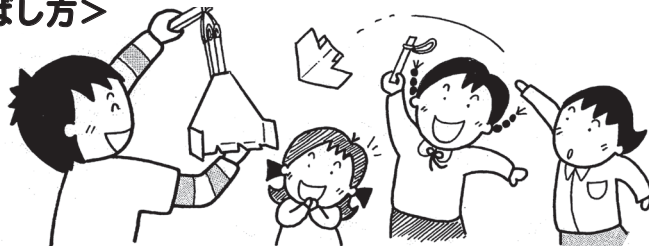
③ 木工用ボンドで、どうたいにつばさをはりつける。



④ 発射機をつくる。



### 〈飛ばし方〉



グライダーのはねの下の出っばりもち、輪ゴムにひっかけて、うしろに引っばって輪ゴムをのぼして手をはなす。どのくらい引っばるといいかな? どんな角度にするといいかな? はねのおり返しぐあいは? 飛ばしてみればちようせつしよう。

# 平成29年度 市区町村別加入状況一覧表

(H29. 1. 31現在)

## 上越地区⑫ 2市

市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1 上越市	78	4,651	553		5,282	1,954	1,954	7,236	148
2 (安塚)	1	48	20	0	69	22	22	91	3
3 (大島)	7	37	25		69	75	75	144	11
4 (大瀧)	12	236	38	0	286	109	109	395	12
5 (板倉)	32	249	39	5	325	269	269	594	12
6 (吉川)	7	66	1		74	71	71	145	3
7 (柿崎)	6	63	27	4	100	54	54	154	4
8 (三和)	5	55			60	61	61	121	5
9 (頸城)	6	368	71	9	454	286	286	740	12
10 (名立)		93	28		121	84	84	205	7
11 (清里)	24	149	1		174	108	108	282	14
12 妙高市	18	269	44	9	340	233	233	573	14
地区合計	196	6,284	847	27	7,354	3,326	3,326	10,680	245

## 下越地区⑦ 5市 1村

市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1 新潟市	289	7,053	186	9	7,537	2,659	2,659	10,196	264
2 新発田市	35	1,512	113	2	1,662	451	451	2,113	43
3 阿賀野市	33	316	7		356	208	208	564	18
4 胎内市	108	854	3		965	649	649	1,614	50
5 弥彦村	20	471	8		499	228	228	727	18
6 燕市(吉田)	28	666	2	0	696	362	362	1,058	22
7 (分水)	54	144	0	0	198	213	213	411	8
地区合計	567	11,016	319	11	11,913	4,770	4,770	16,683	423

## 佐渡地区① 1市

市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1 佐渡市	182	1,750	464	102	2,498	844	844	3,342	137
両津	16	424	23	8	471	220	220	691	43
佐和田		73			73	15	15	88	2
金井		328	151		479	103	103	582	14
新穂		152	89		241	55	55	296	16
羽茂		69	11		80	25	25	105	4
赤泊	14	85	11	15	125	64	64	189	10
相川	53	143	61	45	302	80	80	382	12
真野	38	233	52	2	325	143	143	468	16
畑野	20	179	28	1	228	53	53	281	6
小木	41	64	38	31	174	86	86	260	14
地区合計	182	1,750	464	102	2,498	844	844	3,342	137

## 中越地区⑪ 8市

市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1 長岡市	639	9,289	180	19	10,127	7,145	7,145	17,272	369
2 (中之島)	9	476	8	4	497	180	180	677	30
3 (小国)	22	152	72		246	211	211	457	18
4 柏崎市	85	3,407	91	1	3,584	1,503	1,503	5,087	132
5 見附市	200	1,823	71	2	2,096	2,039	2,039	4,135	102
6 加茂市	167	577	274	76	1,094	1,410	1,410	2,504	31
7 十日町市	45	607	23		675	429	429	1,104	41
8 三条市	5	225	22	5	257	138	138	395	6
9 南魚沼市	74	601	62	9	746	551	551	1,297	29
10 魚沼市(小出)	3	145	0	0	148	34	34	182	4
11 (湯之谷)					0	0	0	0	
地区合計	1,249	17,302	803	116	19,470	13,640	13,640	33,110	762

1 県子連					0	33	33	33	1
-------	--	--	--	--	---	----	----	----	---

	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
総合計	2,194	36,352	2,433	256	41,235	22,613	22,613	63,848	1,568

一般社団法人 新潟県子ども会育成連合会 E-Mail n-kodomo@sage.ocn.ne.jp

編集発行 一般社団法人  
新潟県子ども会育成連合会

〒九五一一八三三  
新潟市中央区白山浦一三〇〇  
電話 〇五二二三〇一五二九八  
FAX 〇二五二二三〇一五二九二

〇四月に「一般社団法人」としてスタートし、十二月には「創立四十周年記念事業」を行うなど、貴重な一年間でした。関係者の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

〇これからの子ども会のあり方を考えたとき、やはり原点に戻り「子どもの声を聞く」、そして「JL等の指導者を育成する」ことが急務であると思われまます。

〇原稿を執筆していただきました皆様に御礼申し上げます。  
(文責:板垣)



### ◆ 当面の予定 ◆

- ・ 5月21日(日) 県子連総会・遊びのひろば (上越市民プラザ)
- ・ 5月30日(火) 全子連定例総会 (オリセン)
- ・ 6月4日(日) 県子連第1回理事会 (大畑センター)
- ・ 6月9日(金) 県子連だより第123号発行
- ・ 6月18日(日)~19日(月) 関プロ子ども会総会 (横浜市)
- ・ 6月25日(土) 第2回遊びのひろば (糸魚川市)
- ・ 7月1日(土)~2日(日) 第1回JL中級研修会 (妙高自然の家)
- ・ 7月9日(日) 安全啓発初級指導者養成講習会 (黒埼市民会館)